



# Echidna

sukebebon

I





君の力を利用して  
を最善の未来  
利用してほしい

まさしく思っ  
なりたい乙女  
なんだ都合の  
して扱われる  
さ

望むなら  
君の慰みに

ボクの身体を  
使ってくれて  
かまわない

契約します

捧げるよ

ん？



……ええと  
それじゃあ契約  
についても少し  
すり合わせを――

俺の名前は  
ナツキ・スバル

万婦不当の  
童貞男！

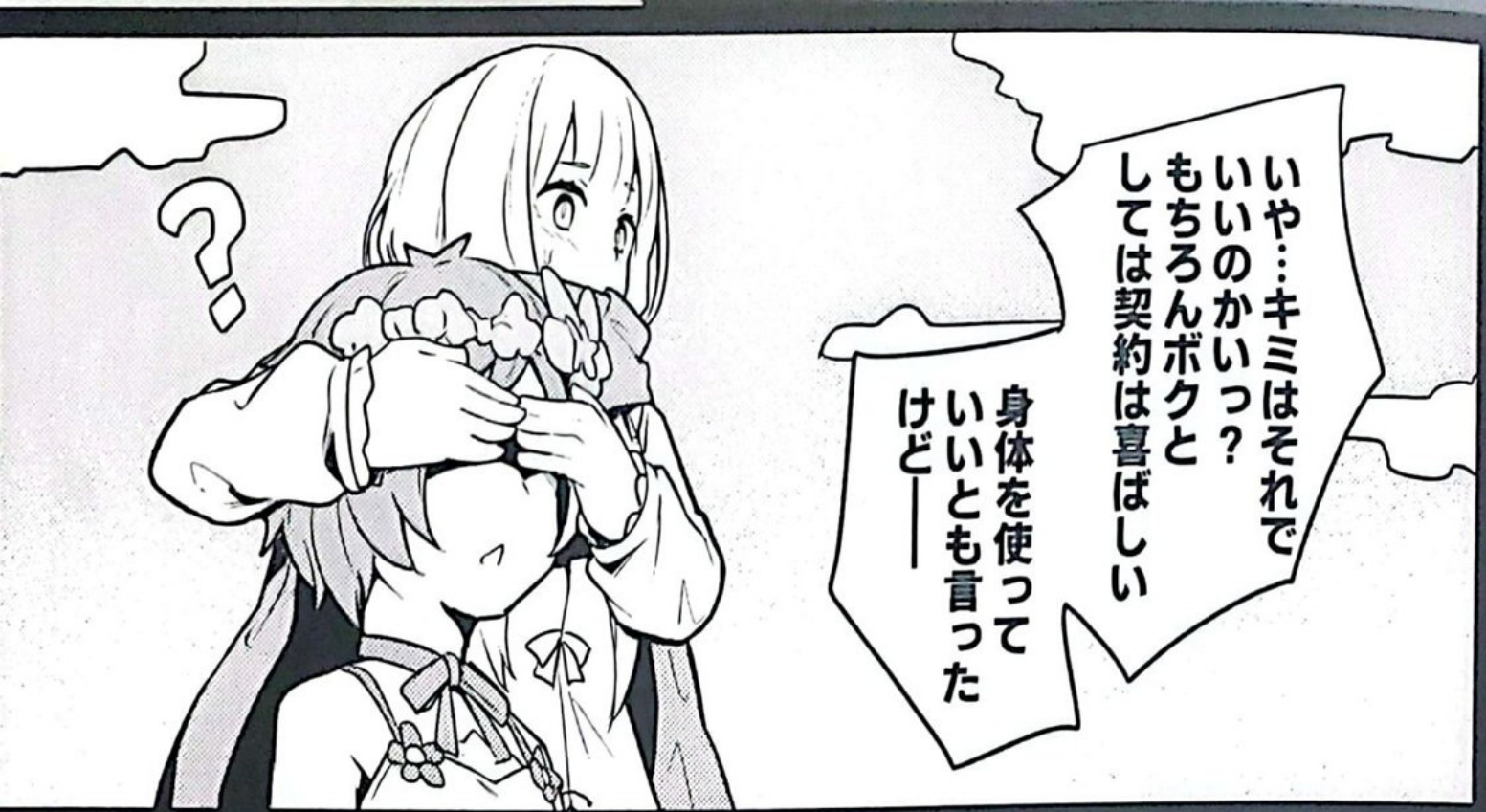
筆おろし  
お願いします

その選択は  
予想外だ  
魔女相手にいきなり  
そつくるのか…

一応ボクも  
女の子なんだ  
もつとこらう

話をしないか！  
肉本堂だ！





いや…キミはそれで  
いいのかいっ?  
もちろんボクと  
しては契約は喜ばしい

身体を使って  
いいとも言った  
けどー



…もう帰って  
いいですかねー

思春期の性欲  
なめんな  
…もう止まらねえ

あつやめー  
乱暴する気だな  
君の記憶にあった  
エロ同人みたいにつ



—おつま!?  
開いたのか  
男の聖域をつ

あまり良い趣味  
ではなかったかな

若い二人に  
任せるさね…

せっかく  
忠告に出てきた  
のにつ

強欲の魔女  
エキドナーツ!!

ちよっー











—喜んで捧げるよ

そうして抑圧されてきたものがいざ自由にできる美少女の身体を前にしたとき

端的に言えば  
キしたのである

かもしれない!!





人...

N

あー

あ

か

がク

がク

がク

あ...

激しい...

この年頃の男の子というのはこつも見境のないものなのか...





ぎゅ  
ま

ぶ

ぐ  
ち

ん  
ト

ん





んあ、♡

おつ、♡  
ハジメテ





中にー

ああ!!

欲望のままに魔女の  
身体を犯し荒らして

グビ  
ビュルルル





クッ  
ナ  
なんと強欲なことだね



容赦がないな  
…別に  
中に出されたから  
と言って孕むわけ  
でもないが



フー!  
ド  
オ  
責任はとってもらいたいのが乙女心というものさー







とはいえ  
これで契約  
成立  
お茶でもしながら  
詳しく話そう



記念だからね  
とっておきを  
用意しよう  
じゃないか



だから君も  
早く座ると  
いい

そのシロツツ  
するのを止め  
ほしいな



ビュル  
ビュル  
スバルミルク  
です





…良い趣味  
をしている

ドナ茶のお前も  
大概だからな

……おいおい  
慣れていくとこやん

あれは言葉の綾  
というものだよ

仕方ない……  
君の変態的趣向  
に付き合うのも  
契約の内ようだし





カキヤ...

・・・満足かな

美味しくはなかった  
と言わせてもらっけれど

お礼に今度は  
ボクがお茶を――



ん...

あ



おかわりいかが  
でしょうか

ンンン!







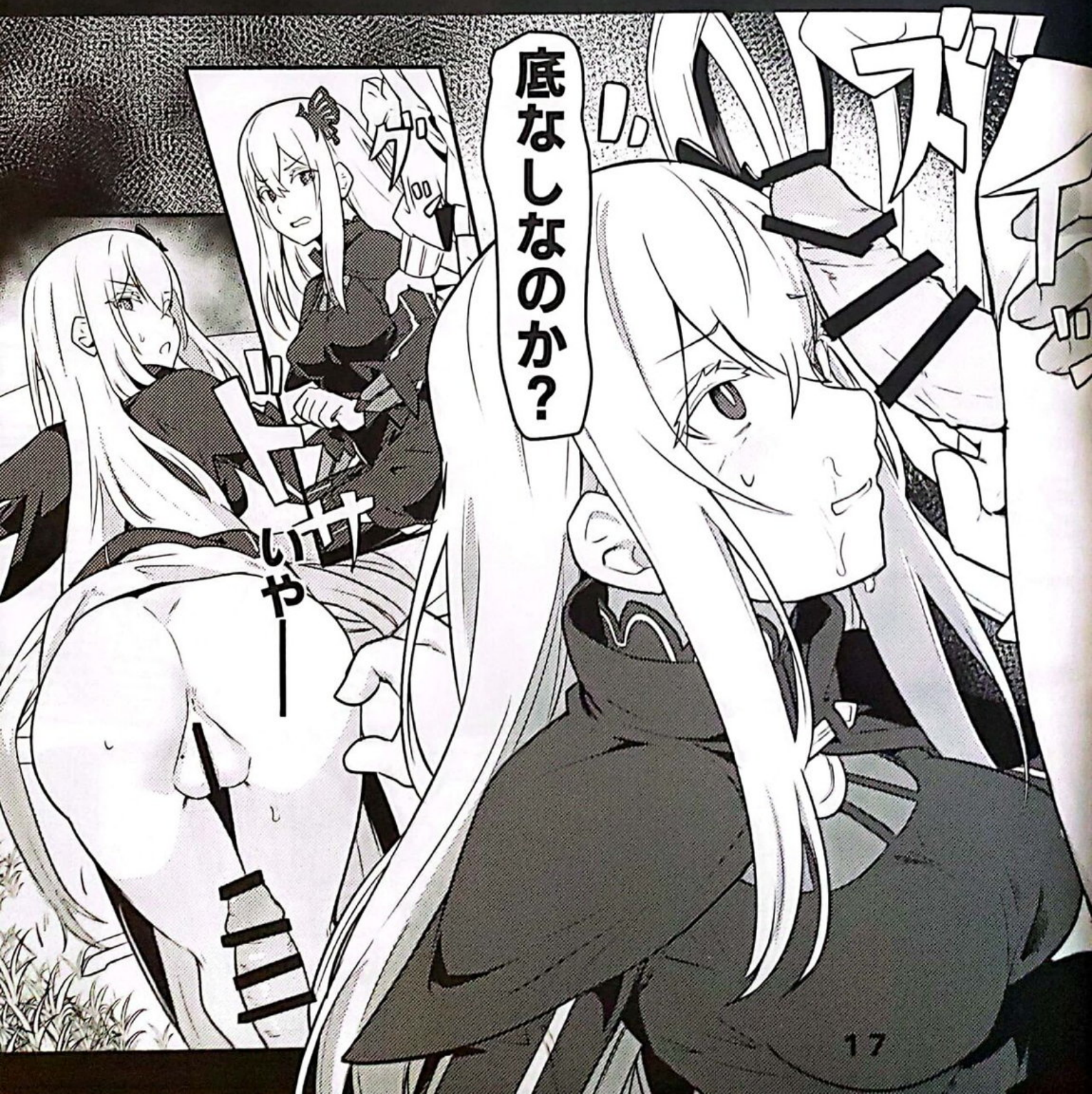


ブルブルブル

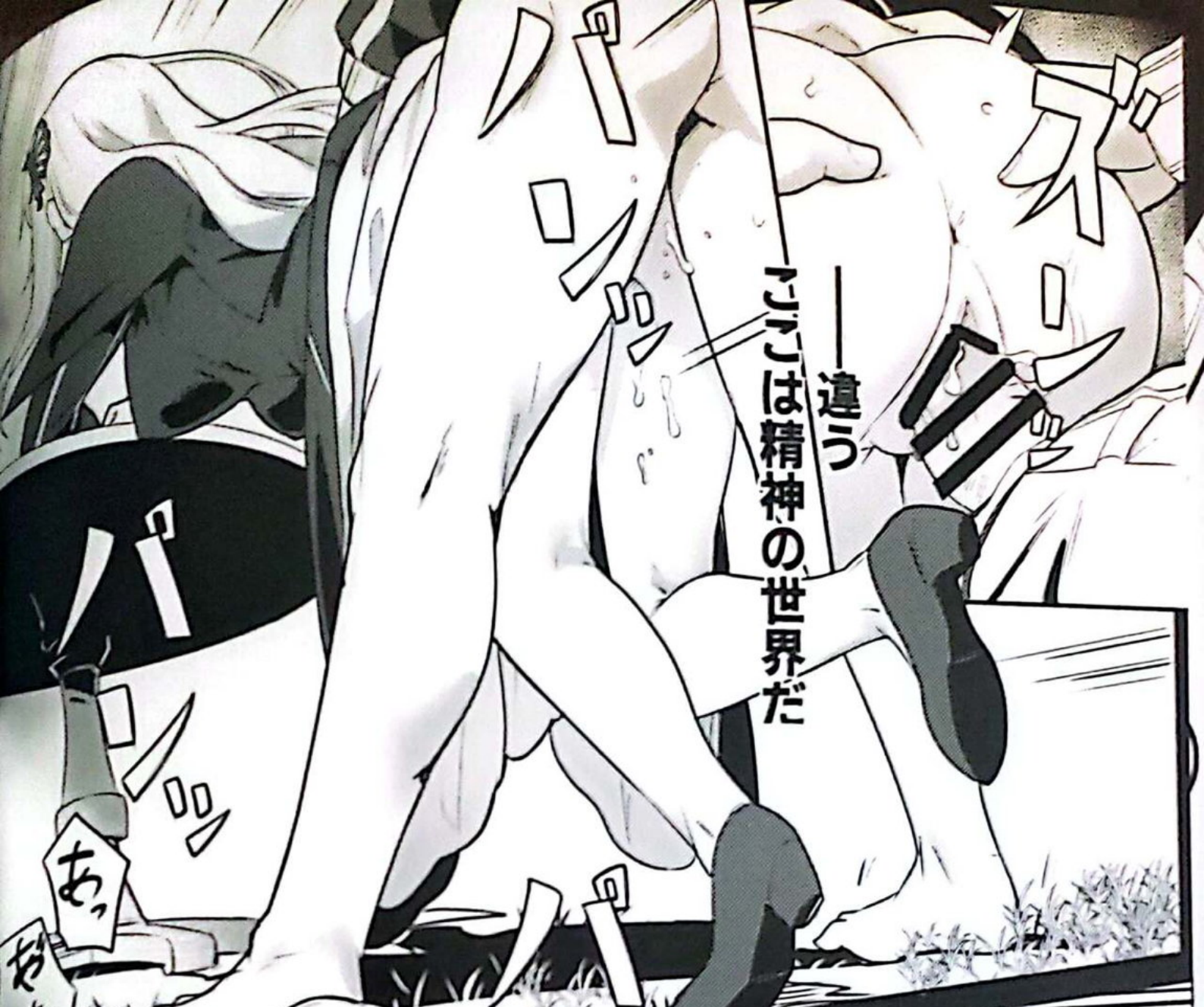
オタ

ピ









——違う  
——ここは精神の世界だ

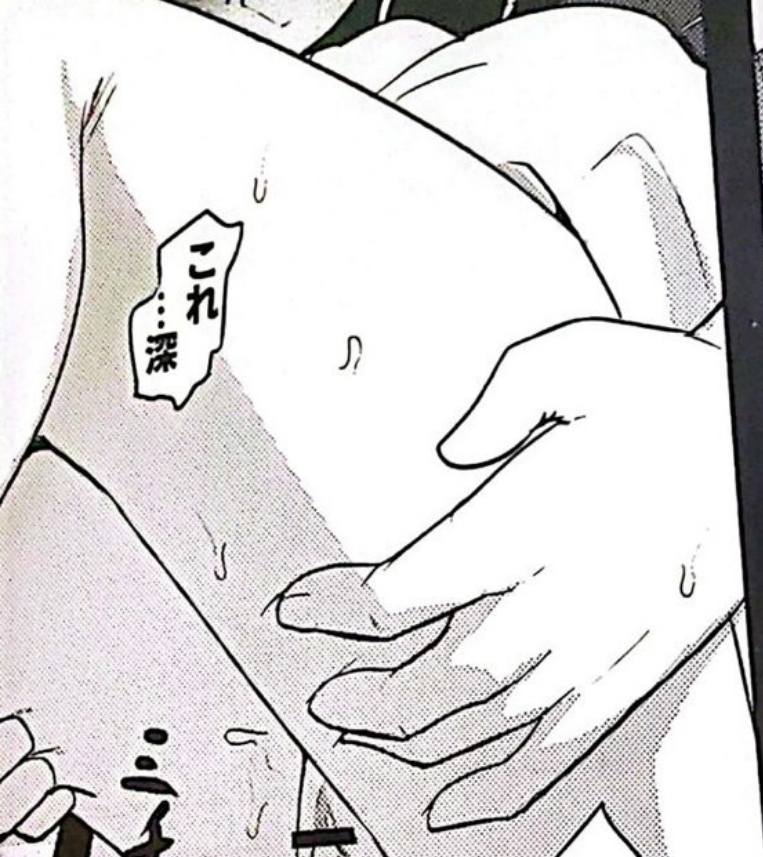


故に際限がない



あ  
お





これ…深



肉体の疲労とは  
無縁に快楽を貪れる  
つまりは――

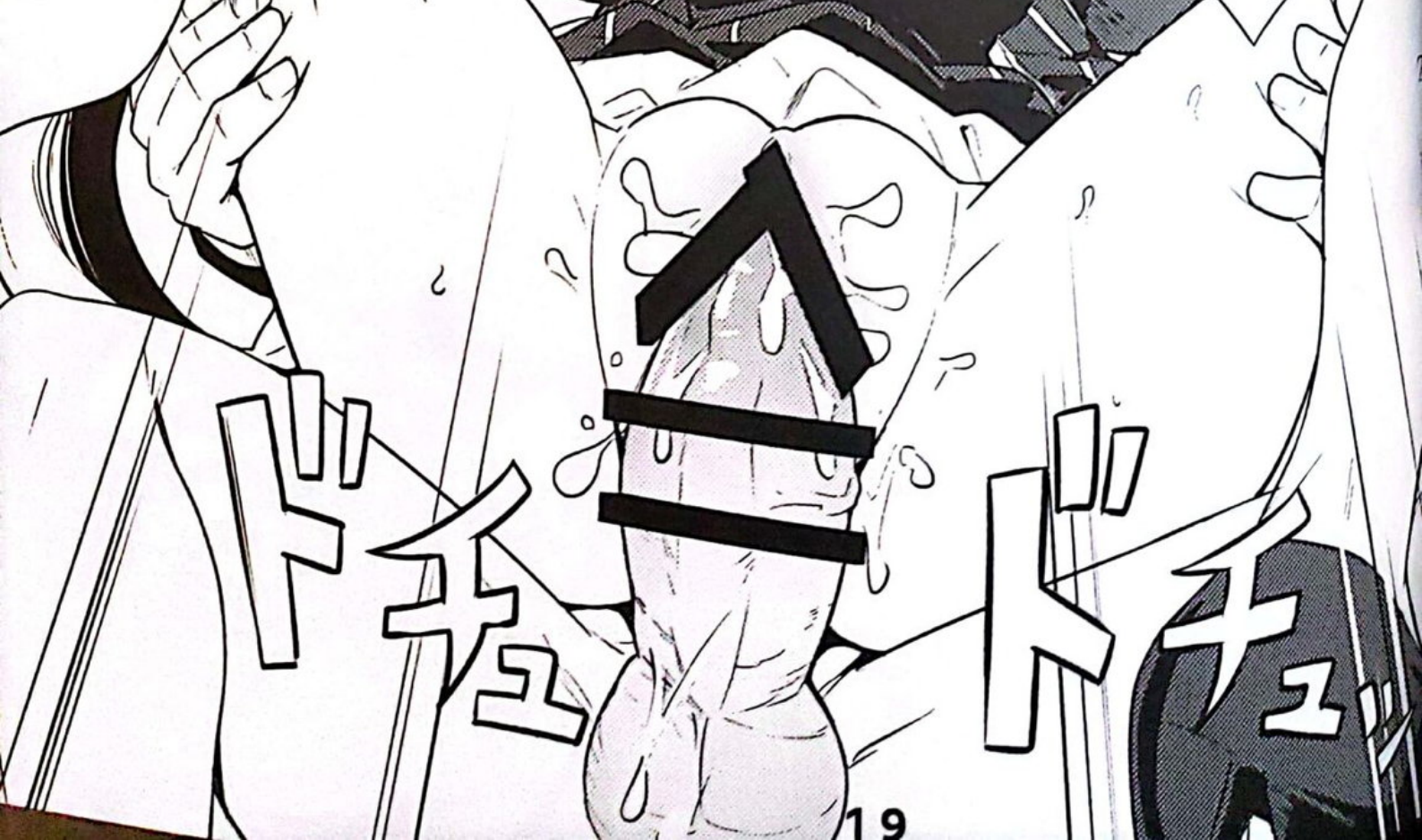


お、

彼が飽きるまで  
終わりが無い

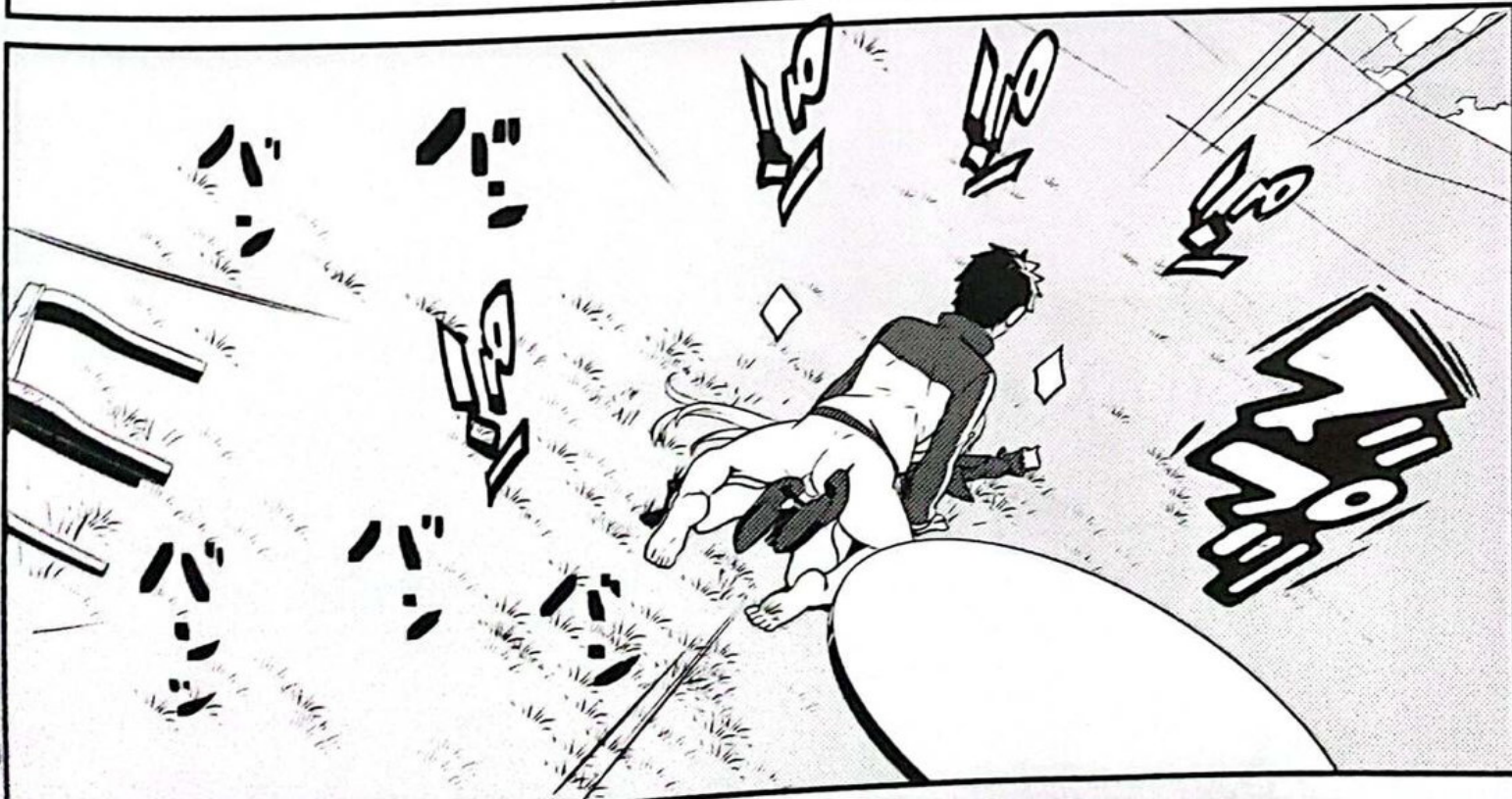
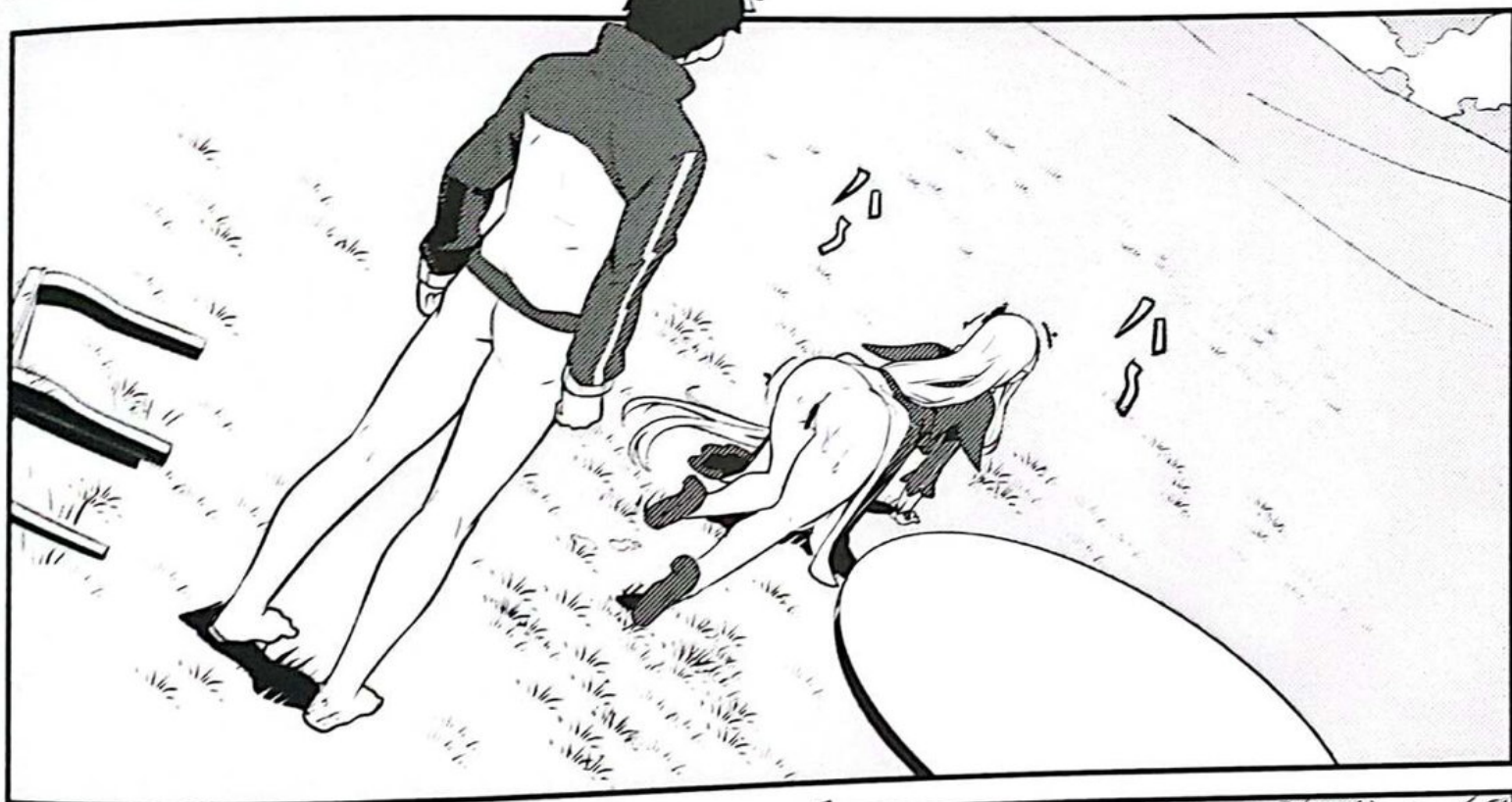
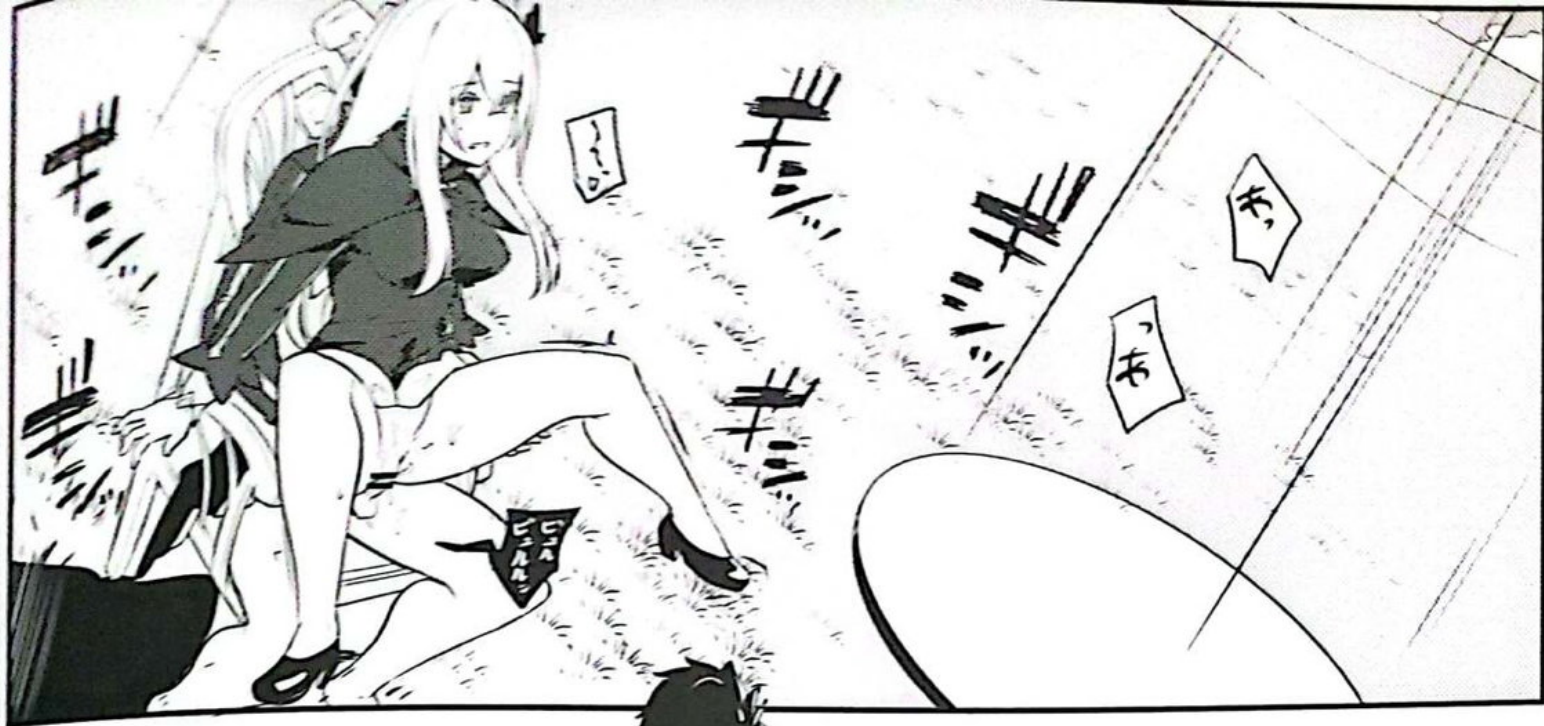


おあ、



ド  
ユ  
ド  
ユ









一体いつまで







ガ  
バ

なっ

アッー!?

ちよっと待って  
それどいふじやっ

やめっ  
イクツイってしまう  
あっあっあっ!?

死に戻った

ん?



# 以下おまけ

